

「これからのモノづくりの本質」 —未来を創ろう—

【シンポジウム主旨】

現在、日本の「モノづくり」は、これまでの高機能・高品質を追及する体質から、国際化の中で全般的には活力を失ってきている。

我が国におけるモノづくりの強みの1つは、モノづくり人材に長年蓄積された技術・技能であり、この技術・技能が途切れることなく後継者に確実に受け継がれるような取組が行われている企業によって現在もトップレベルを維持しているところである。

これからの日本におけるモノづくり産業の再強化のため能力開発に携わっている者としても、超精密加工を含めた加工技術、測定技術の目標に取り組んでいく必要がある。

現在のナノテク時代に能力開発に携わっている者として創造性豊かな、モノづくりのための加工技術の目標に向かってヒトづくりを念頭に未来に向けて取り組んでいく必要があることを述べたい。



【構成】

第1部：第1回機械系コンテスト委員長として

機械系第1回コンテスト「とにかく平らな面を創り出す」

表彰式：評価基準と測定方法、講評について

優勝者の講演

第2部：超精密加工分科会主査として

第3部：これからのモノづくりの未来に向けて — 討論 —

【講演者】 上坂淳一 特任教授（関東職業能力開発大学校 生産技術科）

【日時】 8月23日（金）15：00～17：00

【司会】 菅野金一 教授（関東職業能力開発大学校 生産機械システム技術科）